

鉄板吊り作業 どこが危険？どこがいけない？



指摘事項

集落排水の工事で埋め戻しをするために、敷き鉄板を搬出している場面です。どこでも見られる光景ですが、何が危険なんでしょう？

正面に立ちのぼるスコップを持った作業員ですが、スコップを持っているという事は玉掛の相番では無いわけで、では何をするためにココに立っているのかと言えば、鉄板についたレミファル等を落とす作業を担当していました。

ならば、この場所で構えてる必要はまったく無いわけで、しかも現在は片交中です(カラーコーンはどこいった?)脇は通行車両がかすめて行く状態、だいいちバックホウの旋回半径内に立っている事自体が危険極まりないことです。

是正方法

バックホウの巻き込まれ災害は旋回半径内に入っているからこそ起こります。危険な場所に立ち入っているからこそ重機に巻き込まれます。

オペレーターとは普段から一緒に仕事をしている間柄で呼吸も合っているんですが、自分の命までも相手任せにしていることに気付かせましょう。

重機の巻き込まれ災害の原因は「ナアナア・なれあい」です、普段から危険と紙一重の作業をしていればいつか必ず、災害はやってきます。

この場合必要なのは、現場全体に目を配り危険な行動をとってしまっている作業員に注意を与えられる職長の選任がもっとも必要なことです。